

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

<学校教育目標>

～ 夢に向かって ～

第4号

令和 7年 6月 27日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

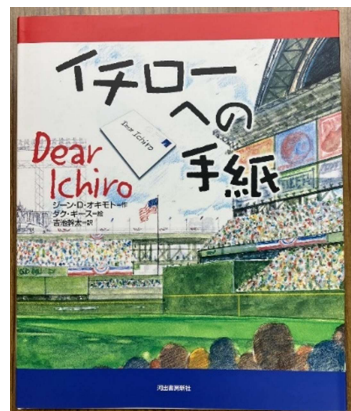
『イチローへの手紙』

校長 小熊 誠

保護者・地域の皆様、「土屋夏の陣」始まりました。第一幕「市学校総合体育大会」。生徒たちの爽やかなあいさつ、ピカピカの笑顔、全力の応援輝いていました。さいたま市の代表として、剣道女子団体、剣道男子個人、卓球女子個人、柔道女子個人、陸上男子が県大会に進みます。水泳、そして文化部のコンクール等がこれからまだ控えています。今後の活躍も楽しみにしててください。そして第二幕「40周年記念体育祭」。「希望をもって 笑顔で取り組み 満足の体育祭」のスローガンの基、皆で掛け声を考えたプログラム1の「ドリーム」、皆の投票で決めた右下の言葉を記した学年カラーのTシャツを纏い踊った「ソーラン節」、地域と共に担いだ「御神輿」、雨雲にまったをかけた、魂の体育祭でした。第三幕は30日から始まる「修学旅行」です。「準備 学び 有終のび 燃やせ 3つの陽」のスローガンを掲げ、いい準備を重ねてきた3年生。きっと灼熱の太陽にも勝るとも劣らない熱い情熱で、京都・奈良に土屋の真っ赤な「3つの陽」を灯してきてくれると信じています。笑顔満面のお土産話を楽しみにしててください。



さて、今月は、生徒たちに読み聴かせをする『イチローへの手紙』という本を紹介します。第4幕「夏休み」が始まる前には是非、皆様も含めて考え、お子様たちと話し合っただけいたら幸いです。野球をモチーフにした話です。登場人物は、主人公のヘンリーと友達のオリバー、そしてヘンリーのひいおじいちゃんのチャーリーです。チャーリーがヘンリーに言った、「心の傷は治るんだよ」「仲直りするのに必要なのは、時間だけじゃないぞ。相手のことを思いやることも大切だ。お互いにね。それが一番大事なことだ。」「仲直りするには心が正しい状態(心が開かれた状態)になきゃいけないんだ。」という言葉が心に刺さりました。私は、このお話のテーマは「許す」ということだと考えています。子ども同士の喧嘩であれ、大人同士の争いであれ、国同士の戦争であれ、「許す」ということはとても勇気が要る難しい行為であると思います。生徒たちがこのお話に触れ、相手を許す勇気を、そして許した後一緒に前に進む大切さを感じてくれたら幸いです。6月の「心痛」の自分と仲間の心の痛みのわかる心と合わせて、「生徒の、生徒による、生徒のための学校」を創りあげ、「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」を実現するための一番の近道となると考えています。中学校の3年間、生徒たちにはいろいろなことがあります。嬉しいこと、楽しいことばかりではありません。イヤなこと、辛いことにも出くわすかもしれません。そんな時こそひいおじいちゃんであるチャーリーの存在が必要なのです。保護者、地域の皆様、私たち教職員とともに、心優しいチャーリーおじいちゃん・おばあちゃんを目指していきましょう。皆で、生徒たちの発する小さなサインを見逃すことなく、皆で見守り、皆で声を掛けていくことが、生徒たちのさらに輝く笑顔に繋がるはずです。どうぞ今後とも温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校